

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【公表番号】特表2003-507418(P2003-507418A)

【公表日】平成15年2月25日(2003.2.25)

【出願番号】特願2001-518038(P2001-518038)

【国際特許分類】

**A 6 1 K 31/4355 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/138 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/165 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/277 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/341 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/401 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/417 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/4415 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/4422 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/4965 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/5377 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/55 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/554 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/616 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/675 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/727 (2006.01)**  
**A 6 1 K 45/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 7/02 (2006.01)**  
**A 6 1 P 9/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 9/06 (2006.01)**  
**A 6 1 P 9/10 (2006.01)**  
**A 6 1 P 9/12 (2006.01)**  
**A 6 1 P 13/00 (2006.01)**  
**A 6 1 P 43/00 (2006.01)**  
**C 0 7 D 491/048 (2006.01)**  
**A 6 1 K 38/55 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 31/4355  
 A 6 1 K 31/138  
 A 6 1 K 31/165  
 A 6 1 K 31/277  
 A 6 1 K 31/341  
 A 6 1 K 31/401  
 A 6 1 K 31/417  
 A 6 1 K 31/4415  
 A 6 1 K 31/4422  
 A 6 1 K 31/4965  
 A 6 1 K 31/5377  
 A 6 1 K 31/55  
 A 6 1 K 31/554  
 A 6 1 K 31/616  
 A 6 1 K 31/675

A 6 1 K 31/727  
 A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 P 7/02  
 A 6 1 P 9/00  
 A 6 1 P 9/06  
 A 6 1 P 9/10  
 A 6 1 P 9/10 1 0 3  
 A 6 1 P 9/12  
 A 6 1 P 13/00  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1  
 C 0 7 D 491/048  
 A 6 1 K 37/64

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月27日(2007.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

【請求項1】哺乳動物の虚血を治療する方法であって、

ピリドキサル - 5' - リン酸、ピリドキサル、ピリドキサミン、3 - アシル化ピリドキサル類似体、それらの医薬として許容される酸付加塩、およびそれらの混合物から成る群より選択された化合物と、

アンジオテンシン変換酵素阻害剤、アンジオテンシンII受容体拮抗薬、カルシウムチャネル遮断薬、抗血栓症薬、\_\_\_ - アドレナリン作動性受容体拮抗薬、利尿薬、\_\_\_ - アドレナリン作動性受容体拮抗薬、およびそれらの混合物から成る群より選択された治療用心血管化合物と、

の治療上有効量の組み合わせを哺乳動物に同時に投与する工程から成る方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項22

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項22】哺乳動物の心筋梗塞を治療する方法であって、

ピリドキサル - 5' - リン酸、ピリドキサル、ピリドキサミン、3 - アシル化ピリドキサル類似体、それらの医薬として許容される酸付加塩およびそれらの混合物から成る群より選択された化合物と、

アンジオテンシン変換酵素阻害剤、カルシウムチャネル遮断薬、抗血栓症薬、\_\_\_ - アドレナリン作動性受容体拮抗薬、利尿薬、\_\_\_ - アドレナリン作動性受容体拮抗薬、およびそれらの混合物から成る群より選択された治療用心血管化合物と、

の治療上有効量の組み合わせを哺乳動物に同時に投与する工程から成る方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項45

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項45】哺乳動物の高血圧を治療する方法であって、

ピリドキサル - 5' - リン酸、ピリドキサル、ピリドキサミン、3 - アシル化ピリ

ドキサル類似体、それらの医薬として許容される酸付加塩およびそれらの混合物から成る群より選択された化合物と、

アンジオテンシン転換酵素阻害剤、カルシウムチャンネル遮断薬、\_\_\_-アドレナリン作動性受容体拮抗薬、血管拡張剤、利尿薬、\_\_\_-アドレナリン作動性受容体拮抗薬、およびそれらの混合物から成る群より選択された治療用心血管化合物と、

の治療上有効量の組み合わせを哺乳動物に同時に投与する工程から成る方法。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項75

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項75】哺乳動物の心筋虚血を治療する方法であって、

ピリドキサル-5'-リン酸、ピリドキサル、ピリドキサミン、3-アシル化ピリドキサル類似体、それらの医薬として許容される酸付加塩およびそれらの混合物から成る群より選択された化合物と、

アンジオテンシン変換酵素阻害剤、アンジオテンシンII受容体拮抗薬、カルシウムチャンネル遮断薬、抗血栓症薬、\_\_\_-アドレナリン作動性受容体拮抗薬、利尿薬、\_\_\_-アドレナリン作動性受容体拮抗薬、およびそれらの混合物から成る群より選択された治療用心血管化合物と、

の治療上有効量の組み合わせを哺乳動物に同時に投与する工程から成る方法。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

血管拡張剤、アンジオテンシンII受容体拮抗薬、アンジオテンシン変換酵素阻害剤、利尿薬、抗血栓症薬、\_\_\_-アドレナリン作動性受容体拮抗薬、\_\_\_-アドレナリン作動性受容体拮抗薬、カルシウムチャンネル遮断薬、およびその他の同等物のような既知の活性成分を使用する薬物療法が、心不全およびその関連疾病の治療に有効である。もちろん、治療に使用される薬はいかなるものであっても、副作用を生じさせる可能性がある。例えば、血管拡張剤は、低血圧、心筋梗塞、および有害な免疫応答を生じさせ得る。アンジオテンシンII受容体拮抗薬およびアンジオテンシン変換酵素阻害剤にはしばしば副作用として、急性腎不全、胎児性電位、タンパク尿、肝細胞毒および糖尿病に関連している。同様に、カルシウムチャンネル遮断薬に関連する一般的副作用には、低血圧、周辺浮腫および肺水腫が含まれる。\_\_\_-アドレナリン作動性受容体拮抗薬および利尿薬は、利尿薬の場合の性不能症、痛風、および筋痙攣と、\_\_\_-アドレナリン作動性受容体拮抗薬の場合の左心室機能の低下および突然離脱症候群とに加えて、非ステロイド性抗炎症薬との配合禁忌に関連している。さらに、\_\_\_-アドレナリン作動性受容体拮抗薬に関連する副作用には、起立性低血圧が含まれ、抗血栓症薬に関連する副作用には、過剰出血が含まれる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

例えば、心筋虚血は、例えばアンジオテンシン変換酵素阻害剤、アンジオテンシンII受容体拮抗薬、カルシウムチャンネル遮断薬、抗血栓症薬、\_\_\_-アドレナリン作動性受容体拮抗薬、利尿薬、\_\_\_-アドレナリン作動性受容体拮抗薬、またはそれらの混合物の投与によって治療され得る。いくつかの例では、鬱血性心不全は、例えばアンジオテンシン変換酵

素阻害剤、アンジオテンシンII受容体拮抗薬、カルシウムチャネル遮断薬、血管拡張剤、利尿薬、またはそれらの混合物の投与によって治療され得る。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

心筋梗塞は、例えばアンジオテンシン変換酵素阻害剤、カルシウムチャネル遮断薬、抗血栓症薬、      - アドレナリン作動性受容体拮抗薬、利尿薬、      - アドレナリン作動性受容体拮抗薬、またはそれらの混合物の投与によって治療され得る。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0080

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0080】

精製固形物を実施例2に従って分析し、その純度を実施例1に従って確認した。

実施例5：ピリドキサル(2-メチル-3-      -ナフトイルオキシ)-4-ホルミル-5-ヒドロキシメチルピリジンの3-      -ナフトエ酸塩の合成

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0117

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0117】

図13～16は、P-5-P処理が単独でまたはベラパミル、アスピリン、カプトプリルまたはプロプラノロールのそれぞれと組み合わせて与えられた群の弛緩速度( $-dP/dt$ )に、P-5-Pが有意な有益な影響を及ぼすことを実証している。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0132

【補正方法】削除

【補正の内容】